



バイカモがいつまでも咲く、きれいな川を守りたい

飛騨一宮水無神社（一之宮町）の前を流れる常泉寺川で7月13日、清流のシンボルで市天然記念物の「バイカモ」を植える作業があり、宮小学校6年生と地元の保護団体（水無梅花藻を守る会・早川克也会長）、高山国道事務所などが参加しました。保護増殖を図るため毎年行われる活動です。

参加児童の東田奈七美さん（写真㊦）は「バイカモが貴重な植物だと学びました。いつまでも咲いてくれるように、きれいな川を守りたいです」と話し、保護団体の方々に習いながら植えていました。

7月13日撮影：一之宮町